

## 第一節 良い生き方を残す

神示教会は、悔いのない人生を手にするのできる環境です。そこには、長い歴史があり、代神、直使のお導きによって救いの道が開かれて、誰もが悔いのない人生を歩める時代となったのです。それが開運です。

開運をかなえるには、どうすればよいのでしょうか。それは、宗教教義に基づく何らかの所作を身に付ければ、かなうものではありません。この世に生を受ける時に神が肉体に宿されるのが魂であり、その魂が運命となって人の一生を導きます。その運命に重なる心の動きができれば、寿命が尽きる時に、さまざまなことがあつたけれども、これが全て自分の人生と、深い感慨を味わえます。

運命に重なる生き方をするには、神の教えを身に付けることです。神示教会には、神示があります。神示から教えを学び取るのです。神示に触れると、世の中で何が起きているのか、社会がどこに向かって進んでいるのかが読み取れます。

人は、得てして、政治、経済などが社会を導いているように錯覚します。例えば、社会の指導者が代わるだけで、経済の先行きが見えなくなり、不安を覚えます。さまざまなものに変化が生まれてきます。しかし、そのように変わっていくのは、真理ではありません。真理とは、何十年、何百年たったとしても、何ら変わらないものです。同じことを繰り返していきます。人が生まれては閉じ、生まれては閉じることを繰り返すのも、真理です。その中で、どうすれば人生に悔いを残さずに生きられるのか、それは学校教育では学べません。社会にあふれる情報の中にも、その答えはないのです。

神示、真理を学ぶことです。神の教えを学び、自分自身の感じ方、受け止め方、生き方を修正していくのです。そこに、神から与えられた運命に重なる生き方ができていきます。特に、家族で教えを学び、家庭で生かす努力をします。

なぜ、家族で教えを学ぶことが必要なのでしょう。世の中は、どんどん変わっていきます。時代、環境の変化は、大きなものがあります。その中で、社会の流れにのまれないようにするには、家族で教えに触れ、家庭に生かしていることが必要なのです。

世の中には、知識があふれています。一つのことを調べても、さまざまな考え方があるものです。そうした中で、どれが真実のかも分かりません。真理のない社会の流れにのまれないようにするには、常に関心を持っていくことが必要です。家族それぞれが命に導かれた生き方ができるようにしていきます。